

- ・曲想など、練習でのキャプテンのお話しを通じて主観で整理した記載もあります。
- ・また、個人的な留意点を中心にまとめたので、やや B2 寄りになっています。

2025/04/19

【本番直前】 個人メモ (B2 櫻井)

【歌う前の癖付け】 **～目指せパブロフの犬(笑)～**

曲紹介の段階：**～MCの曲紹介を聞いたらぁ～**
曲想と重点項目を思い出す。(ボーツと待っていない)

音取りの段階：**～ピアノの音を聞いたらぁ～**
音をとつつ**縦を意識**。(ホホをギュツとする、喉を下げる 等)

【演奏中】

指揮に従う：
大きさ・テンポの変化、→**とにかく指揮の振りに合わせる**
パートへの個別の指示 (強調する、など)
ホホをギュツとする仕草で縦を意識 など

ブレスでブツ切れしない (息切れする前にカンニングブレスを)

1 曲の集中力を切らさない。(せいぜい数分間)

何よりも、演奏を楽しむ。

Sailing

- ・勇ましく。下品にならないためには、縦、そして ere の発音含め、英語の発音（子音重要）。
- ・A メロは徐々に大きくし、「And sailing sailing～」の 3 回目から最大にし、ソロにつなぐ。
- ・46 小節はしっかり伸ばす。（solo が「ocean clear」と歌い、B1 が動いている小節）

Vanity

- ・ドラマ：「A」は船の紹介、「B」boy 登場、「C」キャプテン約束、「D」boy 活躍。をイメージ
- ・単語のブツ切れ注意（特に enemy）。
- ・音量メリハリ→指揮。「C」の後半は「p」の音量。そして「D」Then the boy は出だしから全開。

JohnB

- ・ハチャメチャな歌詞なので楽しく。重くならない。下品にならないためには、縦。
- ・単語や文末尾のブツ切れ注意。曲が分断される。
- ・繰り返しの B1B2 の lululu はしっかり。

Rio

- ・1,4 拍にアクセントおいて推進力（ズンタツツ）。特に遅れがちの「C」に注意。
- ・「H」の meno mosso 指揮に合わせる。56 小節～ B2 は「E」の同音下下らない。

Drunken

- ・飲み屋でワイガヤ、掛け合い、全体で大騒ぎ。最後まで、テンション維持と下品にならないよう縦。
- ・特に指揮に注意。→テンポの緩急や音量の大小がたくさんある。
- ・B2 「D」は重厚に淡々と刻み、掛け合いの土台を作る。
- ・「E」Down the hatch（さあ乾杯だ！）～ の後の B メロのメリハリ
B2 は、mp 「way hey up」+ f 「she rises」を 2 回 そして次に備えるので全体 mp
- ・「F」全体 f を 2 回
- ・「G」の入りは mp：ひそひその伝播（実際は、B2 裸での入りなので勝手に落ちるはず。）
- ・101 小節の空白

Shenandoah

- ・ソロ・コーラス・ピアノカすべてで、リズム・テンポを揃える。そのためには指揮にきちんと合わせる。
- ・コーラスは互いに聴きあって、パート間の音量バランスを意識し、パイプオルガンのような響きで。

Mingulay

- ・静かに淡々と途切れることなく音が進む。曲中、常に HmHm の和音が鳴っているように。
→パート全体で音を切らさない。ブレス位置を変える工夫（カンニングブレス）。
- ・1,4 拍にアクセントおく推進力（ズンタツタツ）。そして、付点 8 分音符 + 16 分音符の跳ね。
- ・B1B2 の入りは mp からのクレッシェンド。「B」から mf に。
- ・40 小節の Hm と Wives の間はブレスしない（Hm の推進力を再アピールし曲の流れを作る）
- ・ere の発音

Swansea

- ・WeatherSide の最後にふさわしく盛大に終わる。
- ・制服着た航海士がバリッと整列して勇壮に歌う。だからこそ縦。
- ・強弱、テンポ変化でメリハリつける。そのためには指揮に合わせるのが必須。
ただ、meno mosso は意外に遅くないし、a tempo は意外に速くない。

音戸

- ・霞の奥からスーツと舟がやってきて、間近を通り、遠くにスーツと去っていくドラマを歌う。
- ・B2 は低いので全開。B1 もメロディに負けない全開。
- ・メロディは、制御できる限界は超えず、格調高い正統派民謡歌手で、とにかく全開。

函館

- ・サブちゃんの勢いで最後まで息切れしない、メロディしっかり（ロングトーン）。
- ・B2 はバックバンドを一式（リズムセクション、ホーンセクション）担う。しっかり刻む。

椰子の実

- ・会場斉唱からの切り替え（Intro を忘れず、幽霊にならない）。
- ・日本語だが格調高く。出だしの「な」が勝負。
- ・ゆったりした曲調では、ブレスでのブツ切れ厳禁。最後の、「異郷の涙」はノーブレス。
- ・臨時記号は高目。

日本丸船歌

- ・ブレスでブツ切れ NG
- ・スラーは無い。マルカートで歌いきる。
- ・出だしの音程「EGG」と「EFG」の歌い分け。

Cruising

- ・テンポ速めのズンチャツチャ。指揮に合わせる。また、この曲こそ縦がお似合い。
- ・ハイソにセーヌ川を川下りするイメージ：曲の流れをブチ切るブレスは厳禁。特に音が動く小節。
- ・waiting for the moon は クレッシェンド・デクレッシェンドでクネクネ。
- ・T2 ソロ (The birds above～小鳥たちみんなで歌う愛の歌)
T1 ソロ (The winds around～優しく吹き抜けるそよ風) は
歌詞と伴奏を意識した歌い方をする。
- ・B2 は、滑舌よりも低音の響き重視 (母音あってれば OK くらい)
Uh も「o」に近くてよいし、Hm も口少し開けてもよいので、とにかく響かせる。
- ・57 小節は盛り上げていく。→58 小節の「Just」につなぐため。

Bengawan

- ・単語の (特に末尾の) 子音を大切に発音。
- ・リズムセクションは体に叩き込んで、楽しそうにノッて刻む。

Liverpool

- ・LeeSide のラストの曲。元気よく。
- ・歌詞と音程を正確に。
- ・進行を間違わない。3 番の後に間奏、コーラス 2 回。

マドロス

- ・ブレスでのブツ切れ注意。下品にならないよう、日本語だが縦。
- ・臨時記号の音は、次の音に近い方にとる。
- ・50-51 小節 「子守歌に」はマルカートかつクレッシェンドで勢いをつけ A メロに戻る。
- ・B2 最後 91 小節の「F」が上ずらない。